

新市民プールと森園公園について

大村市市民環境部スポーツ振興課

令和7年7月14日

- ◆ 1. 森園公園の都市計画上の位置づけ
- ◆ 2. 森園公園周辺整備計画概要
- ◆ 3. 森園公園現況
- ◆ 4. 市民プール計画概要
- ◆ 5. 市民プール建物規模
- ◆ 6. 市民プール施設計画(案)
- ◆ 7. 市民プール配置計画(案)

1. 森園公園の都市計画上の位置づけ(その1)

新市民プールと森園公園について

所在地	森園町1484番地		
開設年月日	昭和50年10月（都市計画決定） 昭和58年3月（開園）		
敷地面積	約48,250m ²		
公園種別	地区公園		
施設	■花と水の広場 ■家族ピクニック広場 ■休憩所 ■シーサイドプロムナード ■親水施設 ■トイレ ■芝生広場 ■緑のふれあい館 ■駐車場		



現況整理	
都市構造上の位置づけについて	
共通	■都市計画マスタープラン及び立地適正化計画において、対象施設の周辺は「都市拠点（市民病院周辺地区）※1」ならびに「自然・レクリエーション拠点※2」に位置付けられている ■都市計画マスタープランにおいて、対象施設の周辺は「都市交通骨格軸※3」と「水とみどりのネットワーク※4」が交わる要衝となっている
関連事業について	
共通	■市民プールの跡地に新庁舎が建設予定 ■隣接する環境センターにおいて、場外余熱供給施設の検討が進行中
周辺環境について	
共通	■対象施設が立地するサンセット通りは、幅員16m以上で交通量が比較的多い ■対象施設周辺に整備されている横断歩道は森園町交差点に位置するもののみ ■近隣に学校、医療施設、サンプラ大村などの都市機能が立地
公園	■敷地境界付近のまとまった植栽が緩衝帯として機能
整備状況・利用状況について	
公園	■敷地内に樹木や芝生などのみどりが豊富 ■敷地内から大村湾へは直接接続していない ■イベント、屋外アクティビティ、遠足、写真撮影等の利用が多い
プール	■これまで市・県主催の水泳大会等が定期的に開催
市民意向について	
公園	■運動やキャンプなどの多種多様な活動が行えること、既存の良好な景観を維持・活用すること、公園以外の新たな機能を導入することなどが求められている
プール	■誰もが安心して利用できること、市民の健康増進に寄与すること、季節・天候に係らず利用できることなどが求められている

課題① 都市全体における位置づけや役割に対応した将来像の設定

- 施設周辺の都市構造上の位置づけや新たな施設に求められる役割等に対応した将来像ならびに整備の方向性を検討することが重要

課題② 周辺施設との関係の強化

- 新庁舎との空間の一体的活用を見据えた施設配置の検討が必要
- 環境センターの余熱利用を見据えた施設配置の検討が必要
- 周辺に立地する各種都市機能からの回遊や施設の相互利用を見据えたゾーニングならびに利用形態の検討が重要

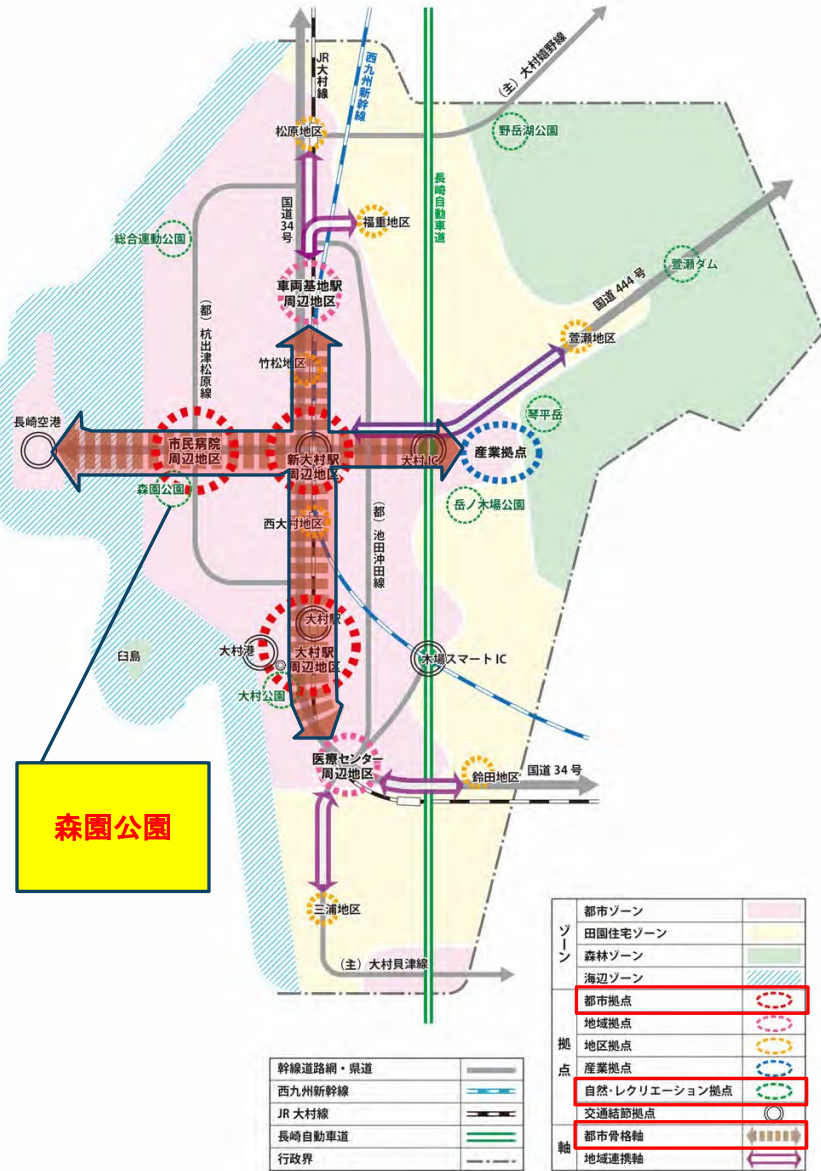
課題③ 既存ストックや資源の有効活用

- 施設周辺における道路交通体系の状況、人口の分布や流動を考慮したゾーニングの検討が重要
- 植栽や海岸環境など、既存資源の魅力増進に寄与する利用形態や整備内容の検討が重要

課題④ 市民目線から求められる機能の導入

- 既存施設の利用状況や市民意向を踏まえた新たな施設に導入する機能の検討が必要

将来都市構造図



【都市骨格軸】

■都市を形成する骨格となる軸

■本市の中心的な拠点(都市拠点・地域拠点・産業拠点)を結び、都市の一体性を確保する役割を担う。

■充実した高速交通体系を結び、その機能を高める役割を担う。

【都市拠点】

■住む人、訪れる人の賑わいや交流の創出、文化の発信など本市の中心

■産業、行政、医療、教育機能など、多様なサービスを提供する都市生活の中心的な役割を担う。

■3地区が役割分担・連携し、一体となって市民の生活や経済活動等を支える役割を担います。
※新大村駅周辺地区、大村駅周辺地区、市民病院周辺地区

【自然・レクリエーション拠点】

■自然とのふれあいや都市のうるおいを生み出す役割を担う。

※大村公園、森園公園、総合運動公園等

水とみどりの整備方針図



【水とみどりのネットワーク】

■海岸線や河川、斜面緑地や幹線道路などの連続したみどりを骨格として、「みどりの拠点」や市街地を有機的に結ぶことで「水とみどりのネットワーク」を形成し、うるおいある都市空間の創出や、海～まち～里山～山が共生するまちづくりを進める。

2. 森園公園周辺整備計画概要(周辺環境鳥瞰その1)

新市民プールと森園公園について



・・・市所有施設

2. 森園公園周辺整備計画概要(周辺環境鳥瞰その2)

新市民プールと森園公園について

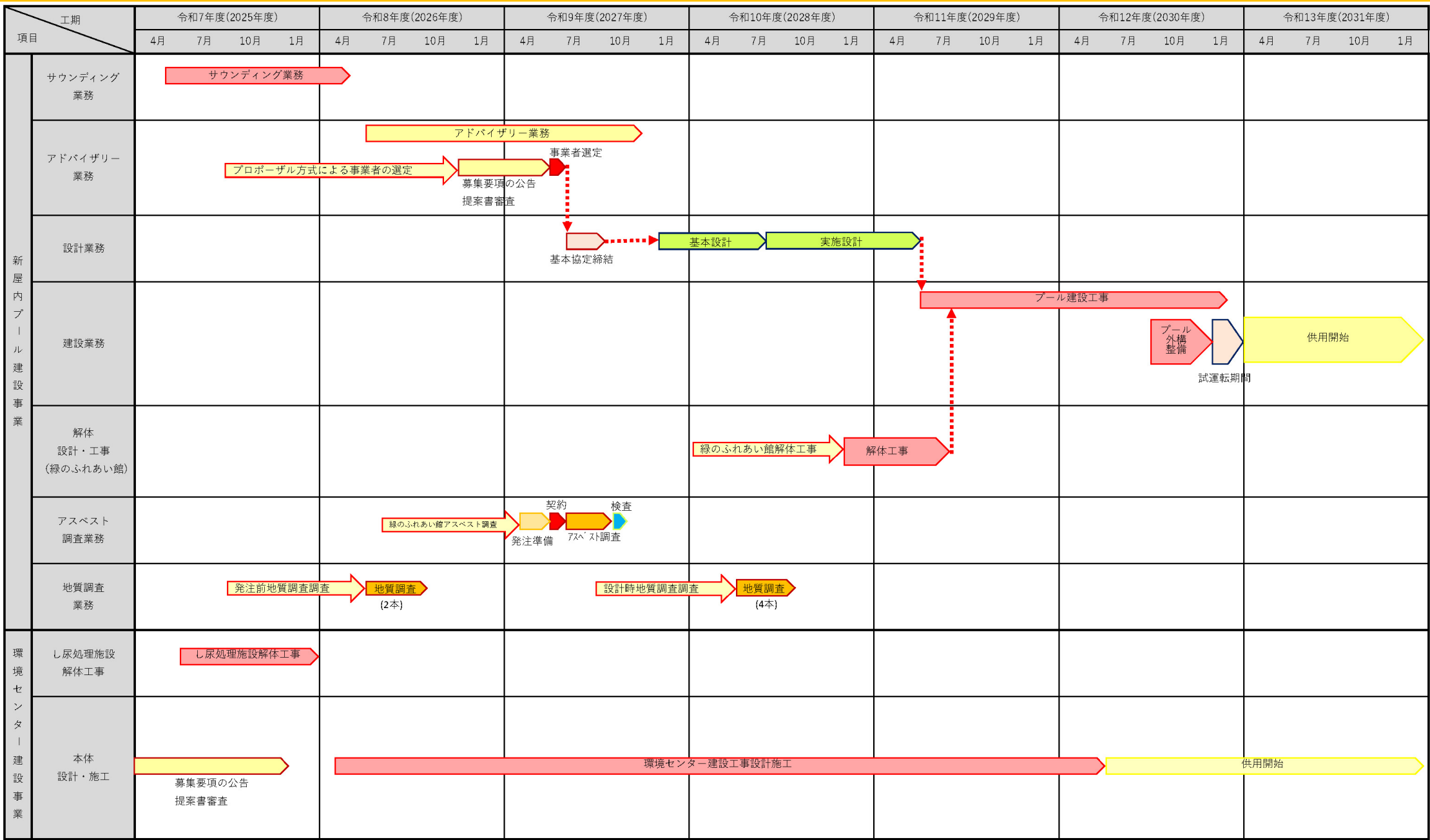


【建設予定地周辺の主な市所有施設】

- ①森園公園
 - ・ プール建設予定地
 - ・ 公園改修
- ②学校給食センター
- ③旧市民プール
 - ・ R7解体予定
 - ・ 新庁舎建設予定地
- ④環境センター
 - ・ 環境センター改築予定

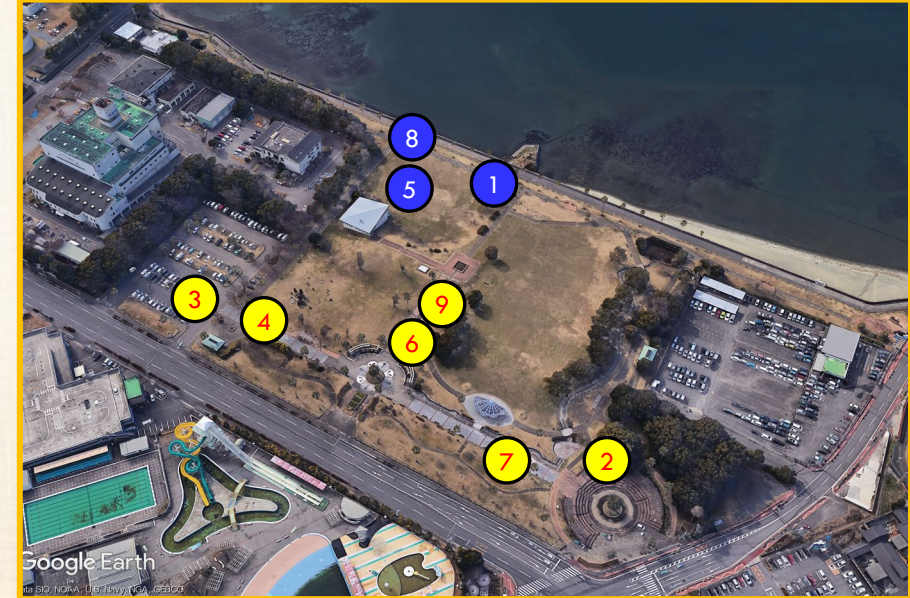
2. 森園公園周辺整備計画概要(全体スケジュール)

新市民プールと森園公園について



3. 森園公園現況(写真その1)

新市民プールと森園公園について



【公園内施設】

- ①緑のふれあい館近辺
- ②レンガ+ベンチ
- ③駐車場
- ④駐車場
- ⑤緑のふれあい館近辺
- ⑥公園中央近辺
- ⑦東屋近辺
- ⑧緑のふれあい館
- ⑨公園中央近辺

3. 森園公園現況(写真その2)

新市民プールと森園公園について



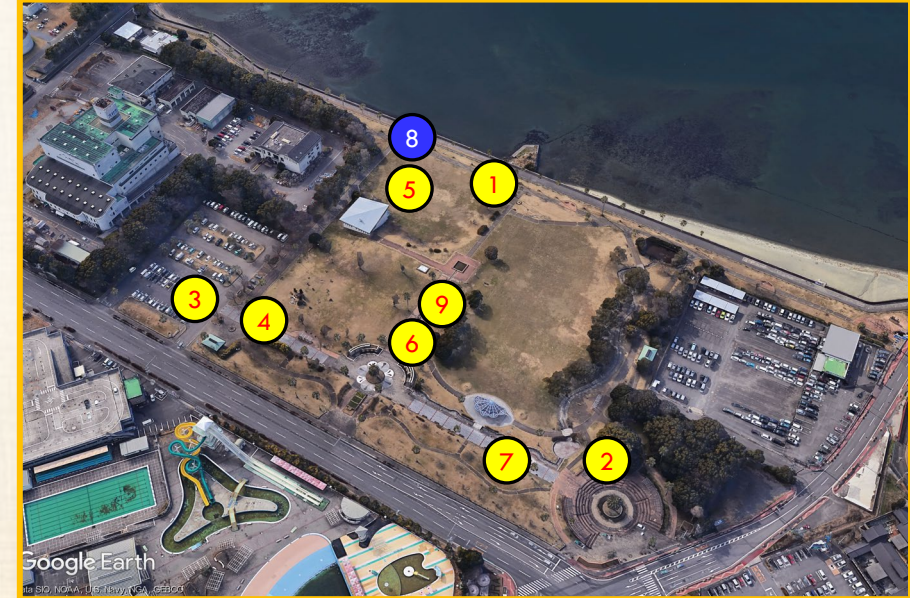
【公園内施設】

- ①緑のふれあい館近辺
- ②レンガ+ベンチ
- ③駐車場
- ④駐車場
- ⑤緑のふれあい館近辺
- ⑥公園中央近辺
- ⑦東屋近辺
- ⑧緑のふれあい館
- ⑨公園中央近辺



【公園内施設】

- ①緑のふれあい館近辺
- ②レンガ+ベンチ
- ③駐車場
- ④駐車場
- ⑤緑のふれあい館近辺
- ⑥公園中央近辺
- ⑦東屋近辺
- ⑧緑のふれあい館
- ⑨公園中央近辺



【公園内施設】

- ①緑のふれあい館近辺
- ②レンガ+ベンチ
- ③駐車場
- ④駐車場
- ⑤緑のふれあい館近辺
- ⑥公園中央近辺
- ⑦東屋近辺
- ⑧緑のふれあい館
- ⑨公園中央近辺

新市民プールと森園公園について

- 地下水位: GL-3.7~GL-3.9m程度
潮位の影響により
±1.0m程度の変動あり
- 支持層 : N値30以上の砂礫層
Dg2層-GL-20m程度
Dg3層-GL-29~33m程度

1.4. 調査位置

まち・ひとをつなぐ、にぎわいの核となる公園

都市全体における位置付けや
役割に対応した将来像の設定周辺施設との
連携の強化既存ストックや
資源の有効活用市民目線から求めら
れる機能の導入

1. にぎわいの核をつくる

- 眺望や公園を活かした官民連携による「にぎわいの核」をつくる。
- 持続的ににぎわいの創出のため、地域住民や観光客などの利用者のニーズに対応した、イベント開催を円滑にするための仕組みづくりを構築する。

2. 魅力高め、立ち寄りたくなる空間の整備

- 海に面し広い芝生広場を最大限に活用し、遊びやイベントなど、多様な目的で人々が集い、活動できる空間整備を図る。
- 新プール設備を公園の新たな魅力として活用し、公園とプールとの連携強化により、公園全体の機能向上を図る。
- サンセット通りや市役所からの開放的な空間整備を図り、公園が主な目的地ではない人々が公園を訪れるきっかけとなるような空間を創出する。
- 長崎空港から訪れる人々を最初に迎える長崎県の玄関口として、森園公園の魅力を生かした森園公園らしい景観整備を図る。

3. つながりの創出

- プールや芝生広場など、多様な目的を持った利用者同士の新たな交流・活動を生み出すような回遊動線の整備を図る。
- 公園内だけでなく、隣接する新庁舎やガラスの砂浜との回遊性を高め、周辺施設全体のつながりを創出する。

【利用シーン①】

- イベントするなら立地が良く広い森園公園で、というのが企画・運営の関係者の間では、当たり前になっている。
- 海への眺望を楽しみながらキャンプができるとあって、大盛況であった。

【利用シーン②】

- 学生時代に野外活動の一環で、公園清掃のボランティア活動に参加していた。
- 活動をするにつれて、公園への愛着が芽生え、結婚後は子供と一緒に参加している。

【利用シーン③】

- 子どもとの、散歩ついでに来訪。

【利用シーン④】

- ガラスの砂浜を目的にドライブデート。
- 帰り際、きれいな夕日が見えたため公園のベンチで景色を楽しんだ。

【利用シーン⑤】

- 公園内にオープンしたカフェが繁盛している様子が、帰り道に目についた。

【利用シーン⑥】

- プール内の更衣室を使ってランニングウェアに着替え、公園内の舗装されたコースをジョギング。

【利用シーン⑦】

- とても気持ち良さそうだったため、帰りに飛行機の時間まで、公園で休憩することにした。
- 公園内には物販スペースがあり、ついでに家族へのお土産を購入した。

【利用シーン⑧】

- 地元の飲食店に声を掛け、大村市の特産品を集めたグルメイベント開催。
- 地域住民だけでなく、観光客も呼び込むことができ、大盛況であった。

【利用シーン⑨】

- 公園で会う小さな子ども同士がサッカーをして遊んだり、好きな植物や虫の話をしたりした。
- これを機に仲良くなり、公園で会うたび一緒に遊ぶようになった。

いつでも、だれでも、気軽に水と緑に触れ合うことができる、
スポーツの振興、レジャー及び健康増進の拠点となるプールを整備する

対応する基本方針		1 利用者の目的に柔軟に対応できる設 備・機能の充実	2 背景となる空・海・緑と調和した施設 の整備	3 誰もが安心・安全で快適に利用できる 環境の確保	4 環境負荷と維持管理の負担の軽減
意匠・形態等	建物は2階建(プール本体は1階部分に配置、観客席は各階に配置)とする。	●			
	周辺環境を活かし、屋外空間の利活用も図る。	●	●		
	海への解放感・一体感を演出するため、大村湾側の開口部を大きく設定する。		●		
	新庁舎側の外観は、大村湾への眺望を阻害しない意匠・形態とする。		●		
	余熱利用の観点から、環境センター側に近接した施設配置とする。				●
施設機能等	季節・天候に関わらず利用できる屋内プールを基本とする。	●		●	
	競技大会(市中総体～県大会レベル)が実施可能な公認プールを設置する。	●		●	
	健康増進等の目的で利用可能な歩行用プールの設置を検討する。	●		●	
	屋内あるいは屋外に遊戯目的で利用できるプールの設置を検討する。	●		●	
	環境センターの余熱及び発電した電気の利用を検討する。				●

事業手法		概要・特徴
従来方式	直接建設方式 (公設公営)	■ 行政が設置した施設を、行政が管理・運営する方式。
	指定管理者制度 (公設民営)	■ 行政が設置した施設を、民間事業者が管理・運営する方式。
DB方式		■ 民間事業者が一括して設計・施工を行った施設を、行政が管理する方式。 ■ なお、管理にあたっては、行政は、これと別契約・別事業で、維持管理・運営を発注することができる。
DBO方式		■ 民間事業者が一括して設計・施工・管理を行う方式。 ■ 包括発注により、運営・維持管理を見通した施設設計・建設が図られ、民間事業者のノウハウを生かして効率的な施設性能と良質なサービスを期待できる。
PFI方式	BTO方式	■ 民間事業者が資金調達し、設計・施工を行った後、行政が建物を取得し、民間事業者が施設の使用権を得て管理を行う方式。(PFI法)
	BOT方式	■ 民間事業者が資金調達して設計・施工した施設を、一定の事業期間にわたって管理し、資金回収を行った後、行政が建物を取得し、管理する方式。(PFI法)
Park-PFI 方式		■ 都市公園法に基づく公募設置管理制度。行政が公募で民間事業者を選定し、公園内に公募対象公園施設及び特定公園施設を設置・管理する方式。(都市公園法)

4.市民プール計画概要(既存施設データ)

新市民プールと森園公園について

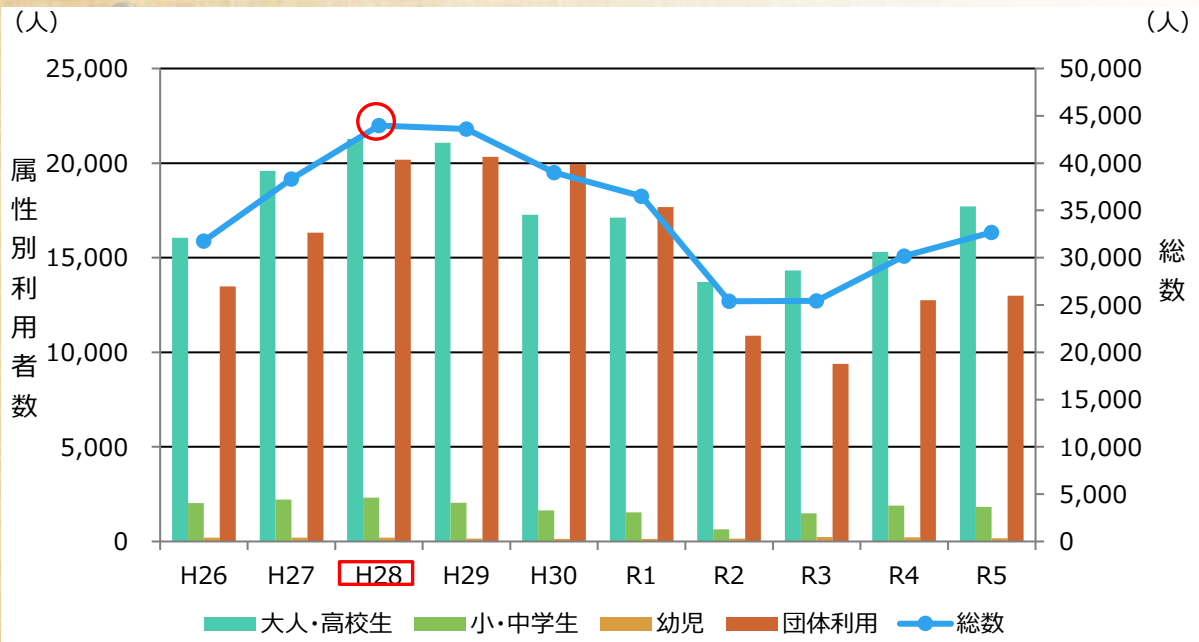
施設名	市民プール
所在地	森園町1537番地
開年設月日	平成8年7月（建設費 14億6,000万円）
敷地面積	約17,800㎡（駐車場を除き約13,000㎡）
構造	鉄骨造鉄板葺平屋建（管理棟）
施設	【プールとしての機能】 ■50mプール（9コース） ■流水プール ■スライダー ■造波プール ■幼児プール ■飛び込みプール 【その他の機能】 ■売店（軽食）
利用期間等	【利用期間】 7月の第1日曜日から9月の第1日曜日までの期間で 市長が定める期間 【利用時間】10時～18時
駐車台数	61台
使用料	大人：600円 小中学生：300円
試合開催等	県児童水泳大会（毎年7月）ほか
現指定管理者	株式会社 協栄

施設名	屋内プール
所在地	大村市幸町25番地42
開年設月日	昭和55年7月 「大村勤労者体育施設屋内プール」として雇用促進事業団と共同で整備。
敷地面積	約2,500㎡（駐車場を除く建物部分 約1,100㎡）
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造一部2階建
施設	【プールとしての機能】 ■25mプール（遊泳用6レーン、歩行用1レーン） 【その他の機能】 ■売店（飲料、プール用品等）
利用時間等	【利用時間】 9～6月：12時～21時 7～8月：10時～21時 【休館日】毎週火曜日、12月29日～1月3日
駐車台数	27台
使用料	大人：440円／2時間 小中学生：220円／2時間
試合開催等	長崎県ねんりんピック、市ジュニア水泳大会ほか
現指定管理者	株式会社 協栄

4.市民プール計画概要(既存施設データ)

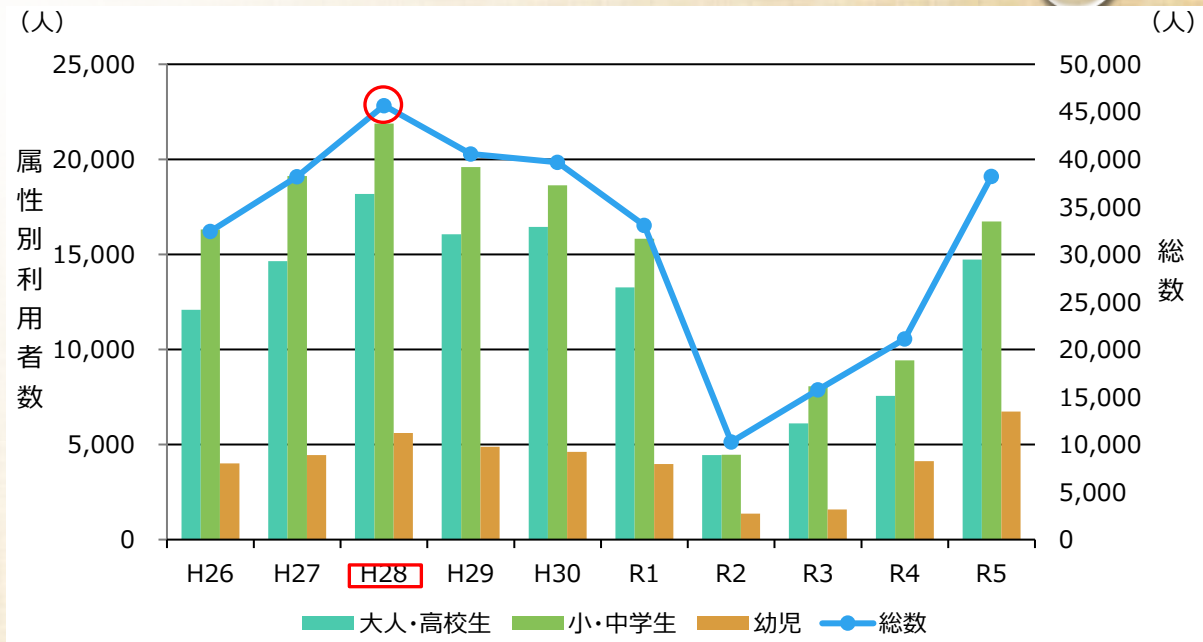
新市民プールと森園公園について

市民プール



年度	総数	大人・高校生	小・中学生	幼児	営業日数	1日当たりの利用者
H26	32,404	12,080	16,313	4,011	40	810
H27	38,192	14,637	19,117	4,438	44	868
H28	45,665	18,187	21,877	5,601	40	1,142
H29	40,552	16,063	19,598	4,891	37	1,096
H30	39,698	16,446	18,640	4,612	40	992
R1	33,049	13,262	15,819	3,968	36	918
R2	10,275	4,450	1,361	381	27	381
R3	15,757	6,115	8,061	1,581	25	630
R4	21,105	7,552	9,427	4,126	34	621
R5	38,199	14,722	16,740	6,737	36	1,061

屋内プール



年度	総数	大人・高校生	小・中学生	幼児	団体利用※1	1日当たりの利用者※2
H26	31,763	16,051	2,037	199	13,476	103
H27	38,333	19,589	2,222	197	16,325	124
H28	43,970	21,271	2,321	198	20,180	143
H29	43,601	21,069	2,053	156	20,323	142
H30	39,021	17,275	1,641	142	19,963	127
R1	36,484	17,116	1,545	142	17,681	118
R2	25,390	13,714	649	151	10,876	82
R3	25,449	14,321	1,495	240	9,393	83
R4	30,173	15,303	1,897	212	12,761	98
R5	32,694	17,707	1,824	176	12,987	106

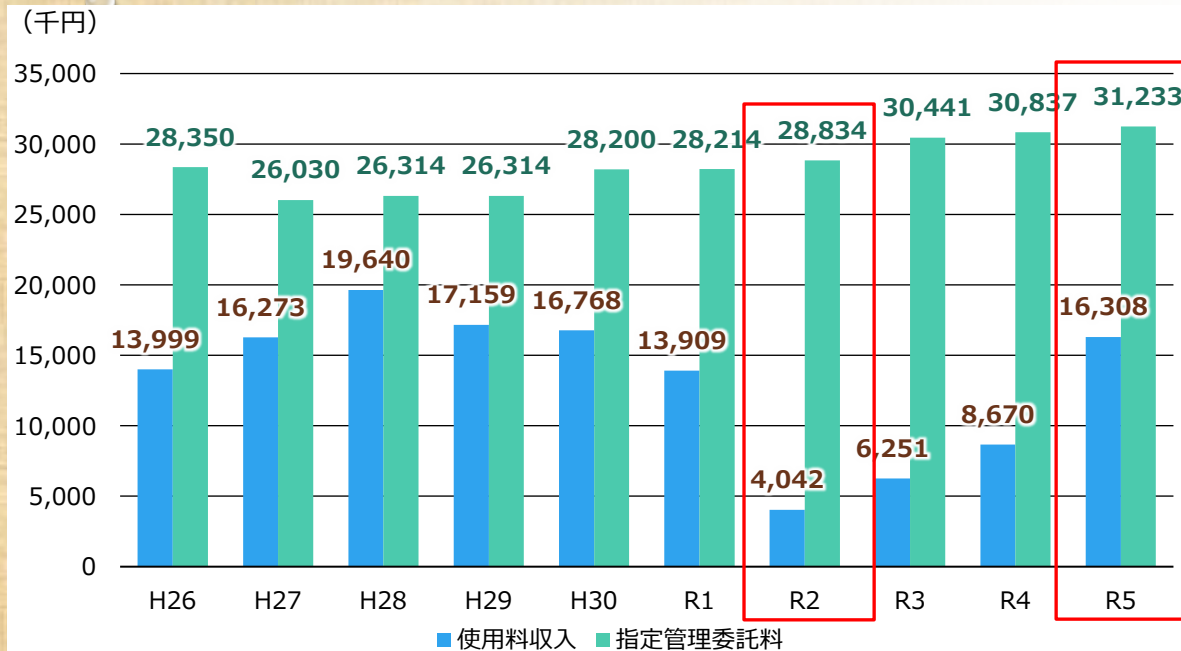
※1 「団体利用」には中学校の部活動も含まれるが「小・中学生」とは別集計

※2 便宜上、全ての年度で308日間の稼働したと仮定

4.市民プール計画概要(利用状況・管理状況)

新市民プールと森園公園について

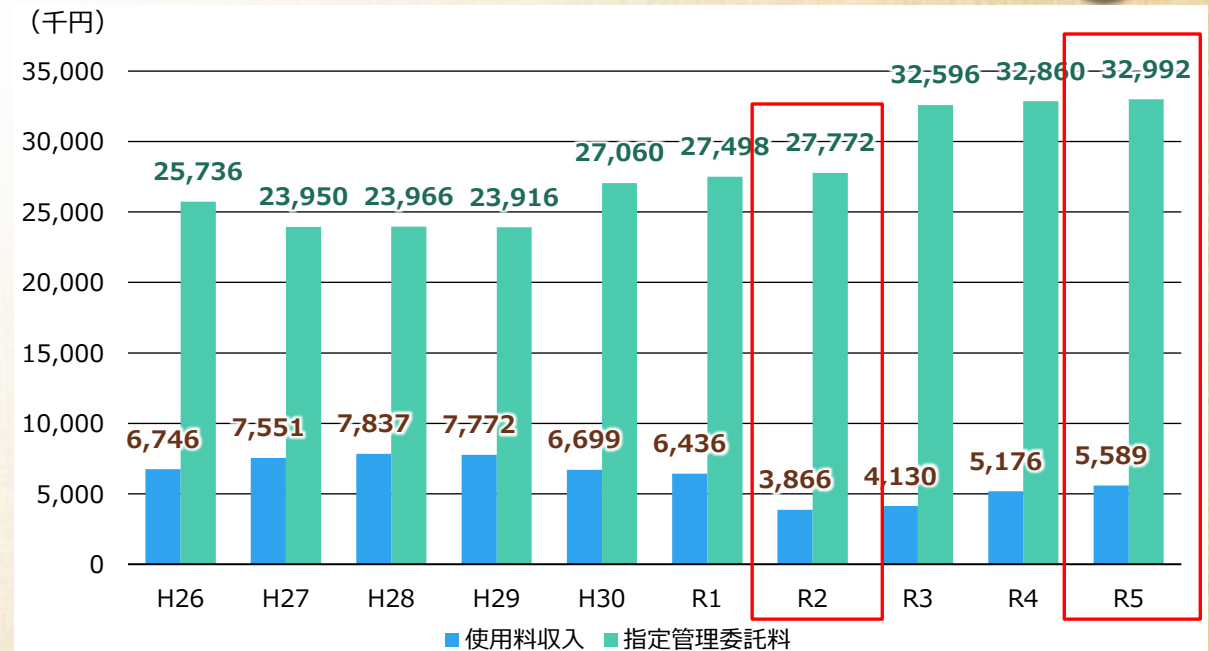
市民プール



市民プールは指定管理者制度を活用した民間事業者による管理・運営を行っている。利用者数の推移と同様に、コロナ禍の影響を受けて使用料金収入が大きく減少しており、令和2年度には以前の1/4程度まで減少している。その後、利用者数の増加と合わせて使用料金収入も増加しており、令和5年度時点ではコロナ禍以前と同程度まで回復している。

対して、指定管理委託料は平成27年以降一貫して増加傾向にあり、使用料金収入との乖離が年々増大している。

屋内プール



屋内プールも市民プールと同様、指定管理者制度を活用した民間事業者による管理・運営を行っている。利用者数の推移と同様に、令和2年度には、コロナ禍の影響を受けて使用料金収入(※)が減少していたが、その後は、利用者数の増加と合わせて使用料金収入も増加している。

指定管理委託料は市民プールと同様、平成29年度以降一貫して増加傾向にあり、使用料収入との乖離が年々増大している。

(※)令和2年4月1日から、個人利用の場合の料金を「大人600円から440円、小・中学生300円から220円」に改定しているため、令和2年度以降の使用料金の減収要因には、コロナ禍による利用者数減少以外に、料金改定による減収が含まれる。

4.市民プール計画概要(市民意向)

新市民プールと森園公園について

調査期間	令和4年11月10日～23日
調査対象	大村市に在住する18歳以上の男女(無作為抽出)
調査人数	6,785人
回収結果	2,497人
回収率	36.8%

【問15:市民プールと屋内プールの集約化】

プールの集約化について、「市民プールと屋内プールを集約化し、新たな屋外型プールのみを整備する」が約52%と最も多く、集約化を行ったうえで、新たな整備としては屋内型プールのみを求める意見が多い。

市民プールと屋内プールを集約化し、新たな屋内・屋外併設型のプールを整備する	52.2%
市民プールと屋内プールを集約化し、新たな屋内型プールのみを整備する	19.0%
わからない	17.3%
集約化しないで、別々に整備する	9.6%
その他	2.0%

【問16:プールの整備場所】

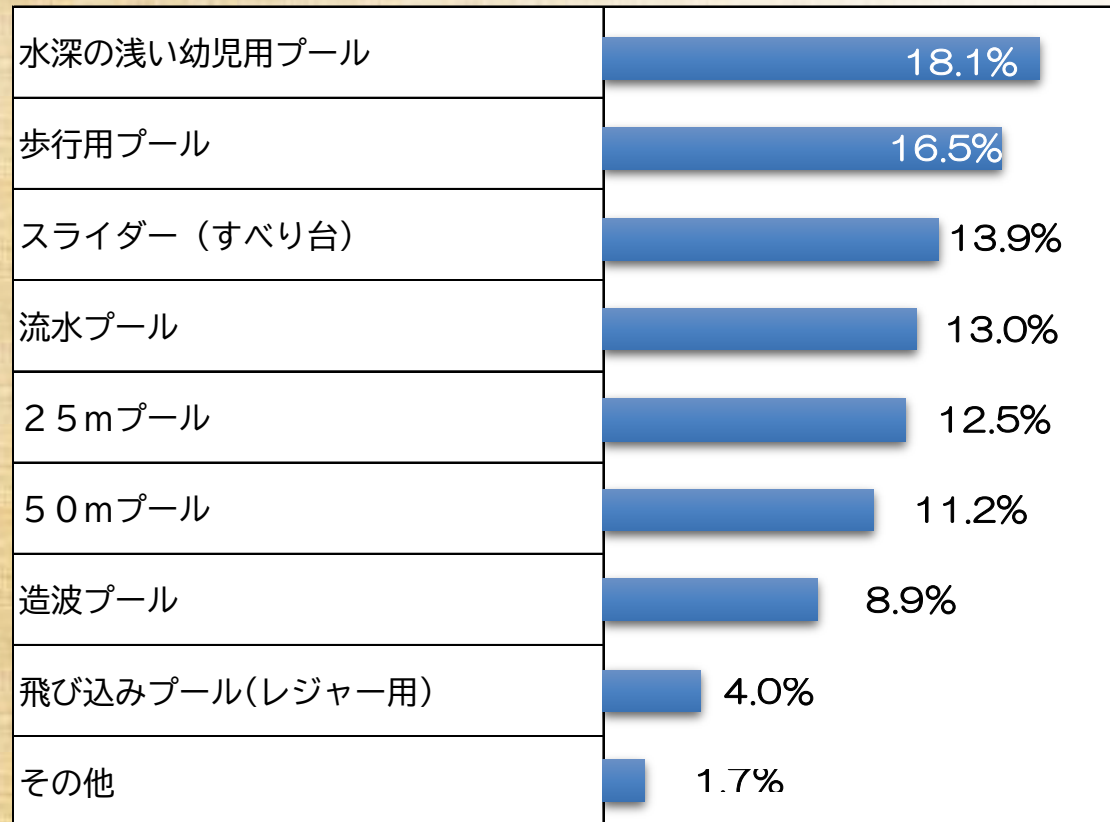
集約化したプールの整備場所について、「環境センター周辺(森園公園の一部など)でよい」が約57%と最も多く、市役所跡地よりも環境センター周辺への立地を求める意見が多い。

環境センター周辺(森園公園の一部など)でよい	56.9%
わからない	16.0%
どこでもよい	13.5%
環境センター周辺よりも、現地の市役所の跡地(玖島1丁目)がふさわしい	11.1%
その他	2.5%

【問17:プール施設に必要な設備】

プール施設に必要な設備について、「水深の浅い幼児用プール」が約18%と最も多く、次いで「歩行用プール」が約17%、「スライダー(すべり台)」が約14%となっており、幼児向け設備、健康増進用設備、レジャー用設備をそれぞれ求める意見が多い。

また、競泳プールの水路長については、「25mプール」が約13%、「50mプール」が約11%となっており、あまり大差はないが、「25mプール」を求める意見がやや多い。



【自由記述(プール)】

自由記述について、プールの将来像の観点から項目別に整理すると、「老若男女問わず安心して利用できるプール」が最も多く、幼児から高齢者まで、幅広い年代が安全・安心に利用できるプールを求める意見が多い。次いで、「健康増進に寄与するプール」として、歩行用プールや入浴施設等の併設を希望する求める意見、「季節・天候に係らず利用が可能なプール」として、通年利用可能なプールを求める意見、「大会利用が可能なプール」として、一般利用に加えて競技大会が行えるプールを求める意見がみられる。

新市民プール

	日別利用者数	瞬間的な最大利用者数
オフシーズン中の利用者数	約210人	約110人
シーズン中の利用者数	約800人	約410人
イベント時(大会等)の利用者数	約480人	約240人

※市民プールの開園時期(7月～8月)を“シーズン中”、それ以外の期間を“オフシーズン中”と仮定

【想定される利用者数の算出手順】

① オフシーズン中については、競技用プール(屋内)のみが利用されると仮定。
屋内プールの利用者数(1レーンあたりの稼働状況)を参考値とし、採用して日別利用者数を算出。

② シーズン中については、競技用プール(屋内)とレジャー用プール(屋外)が利用されると仮定。
市民プールの利用者数(空間密度)を参考値として採用し、①の数値を合算して日別利用者数を合算出。

③ イベント時については、他都市における25m屋内プールの利用規定(1レーンあたりの利用者数の上限)を参考値として採用し、日別利用者数を算出。

④ ①～③の数値に対して、滞在時間(回転率)を加味した補正を行い、瞬間的な最大利用者数を算出。

駐車場

	瞬間的な最大駐車台数	必要な駐車場面積
オフシーズン中に必要となる駐車場面積等	約40台	約1,200m ²
シーズン中に必要となる駐車場面積等	約140台	約4,000m ²
イベント時(大会等)に必要となる駐車場面積等	約100台	約3,000m ²

【必要な駐車場面積の算出手順】

① 上記で算出した瞬間的な最大利用者数に対して、自家用車の利用率に基づいた補正を行い、自家用車で訪れる利用者数を算出する。

② 算出した自家用車で訪れる利用者数を1台あたりの乗車人員で除して、瞬間的な駐車台数を算出する。

③ 算出した瞬間的な駐車台数に1台あたりの駐車面積を乗じて、必要な駐車場面積を算出する。

5.市民プール建物規模(施設規模の検討)

新市民プールと森園公園について

【建築面積についての前提となる条件】

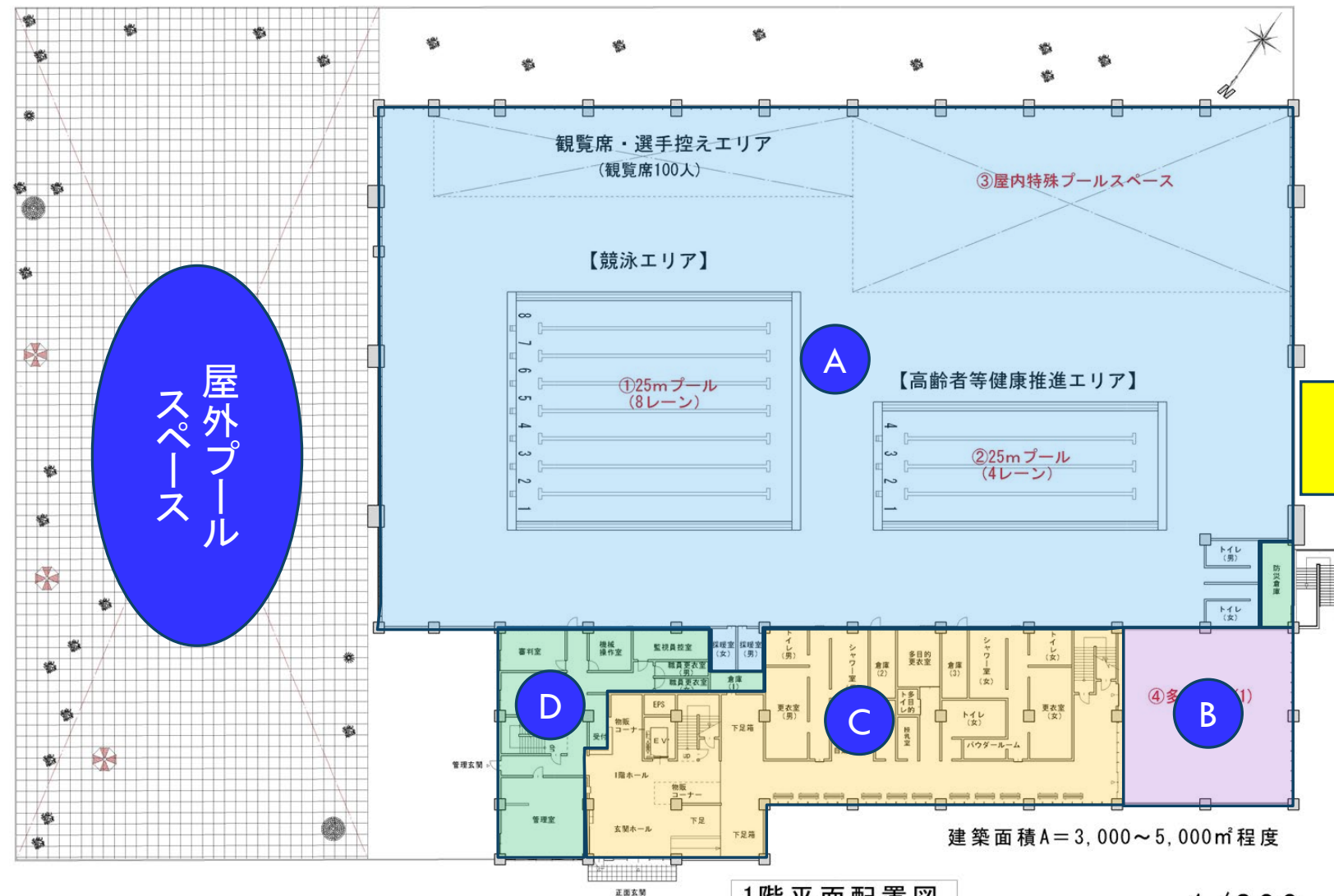
新たなプール施設の整備予定地は森園公園(約48,000㎡)の敷地内であるため、建築面積の上限は原則2%だが、運動施設を設置する場合、10%を上乗せすることができる。よって、建築面積の上限は5,700㎡程度(建ぺい率は敷地の12%)となる。(トイレ等の建物も含む)

なお、森園公園における今後の施設整備の可能性を考慮し、実質的な建築面積の上限は5,000㎡程度とする。



6.市民プール施設計画(案)(1階平面図)

新市民プールと森園公園について



新たなプール施設のレイアウトイメージ

Aプール部門

- ①25mプール(8レーン)
- ②25mプール(4レーン)
- ③屋内特殊プールスペース

B諸室(プール以外)

- ④多目的室(1)

C共用部門

- ・玄関ホール
- ・1階ホール
- ・物販コーナー
- ・下足箱
- ・トイレ
- ・更衣室
- ・シャワー室
- ・パウダールーム
- ・自販機コーナー

D管理部門

- ・受付
- ・管理室
- ・会議室
- ・審判室
- ・機械操作室
- ・更衣室
- ・監視員控室
- ・更衣室・倉庫

6.市民プール施設計画(案)(2階平面図)

新市民プールと森園公園について

Aプール部門

・吹き抜け

B諸室(プール以外)

⑧会議室(2)+倉庫

⑨多目的室(2)

C共用部門

⑥観覧席

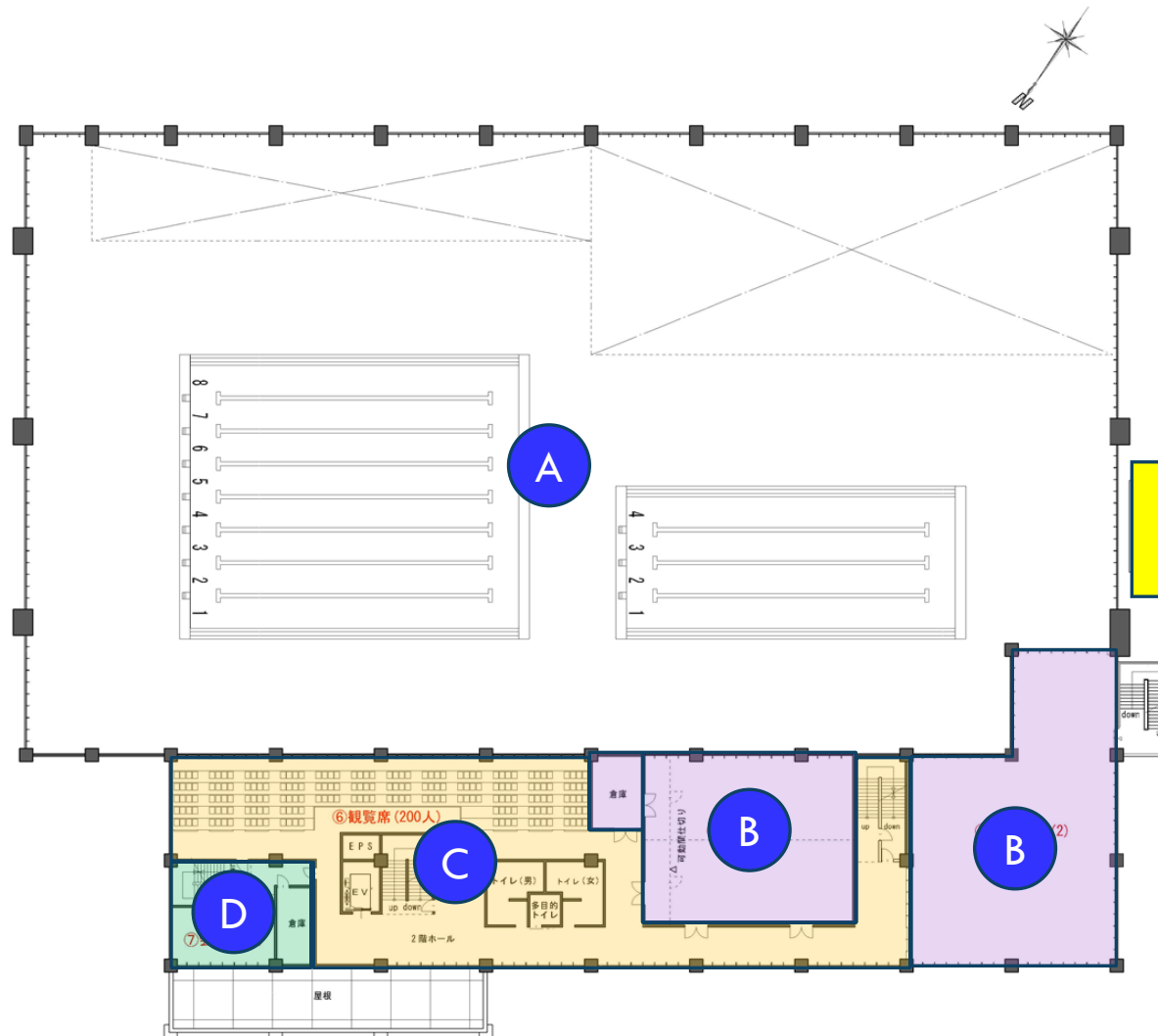
・2階ホール

・トイレ

D管理部門

⑦会議室(1)

・倉庫

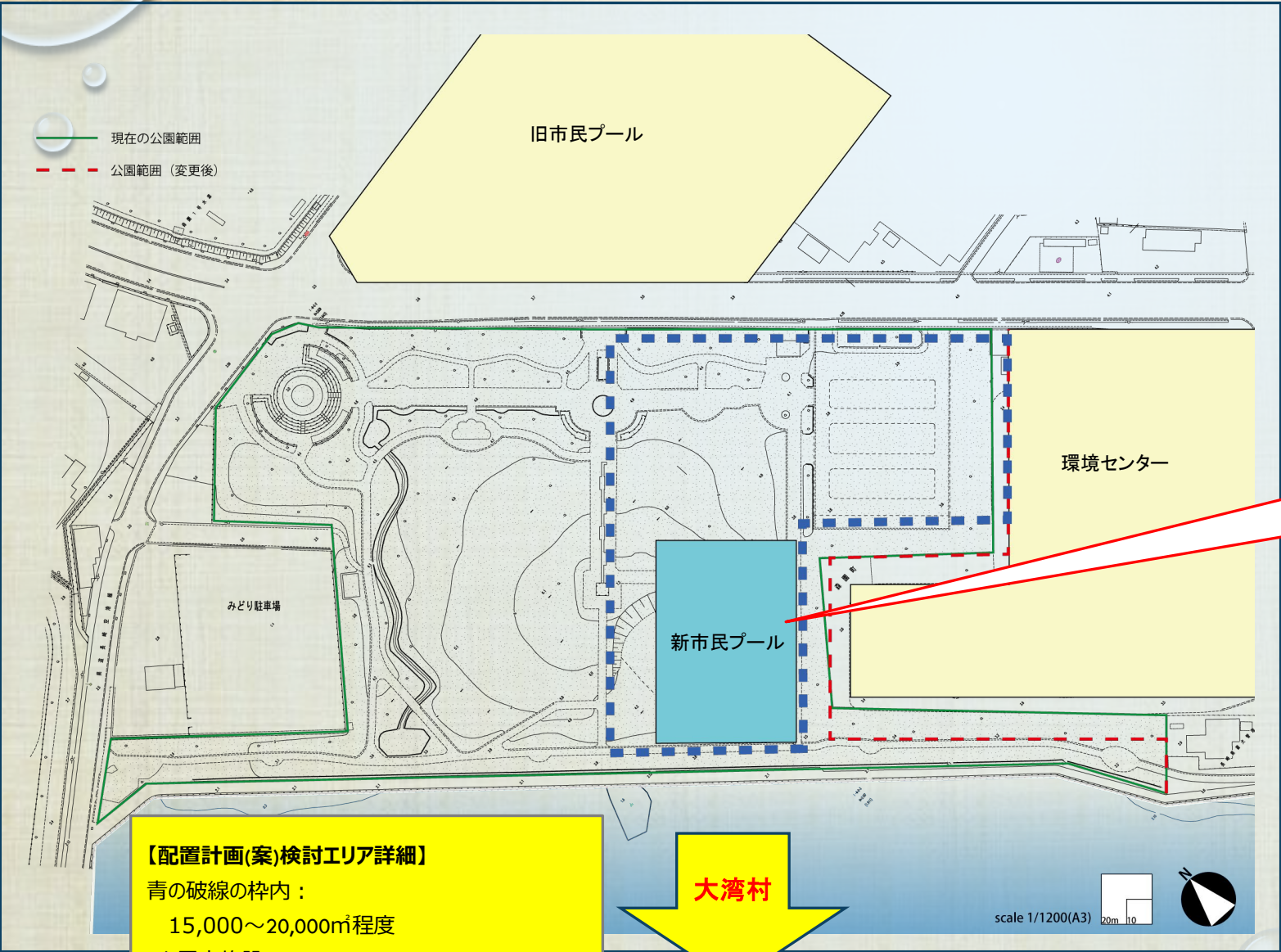


2階平面配置図

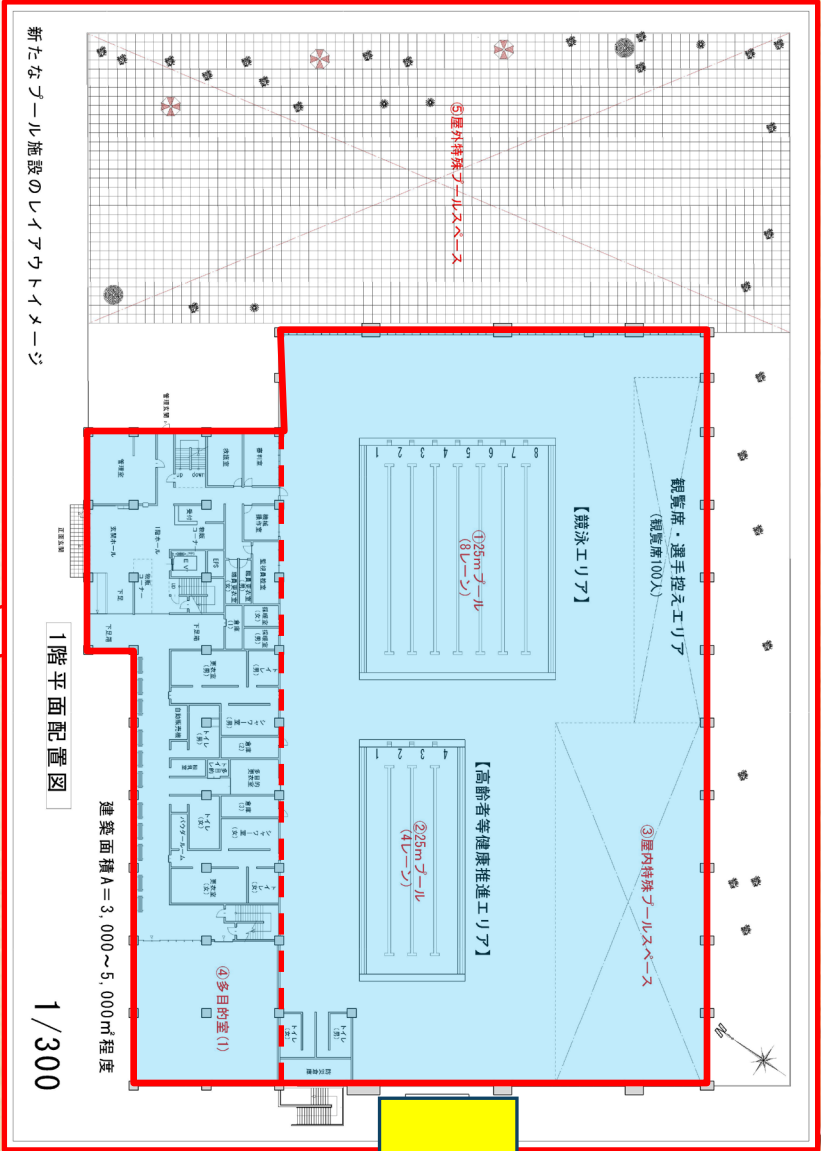
1/300

7.市民プール配置計画(案)(プール配置)

新市民プールと森園公園について

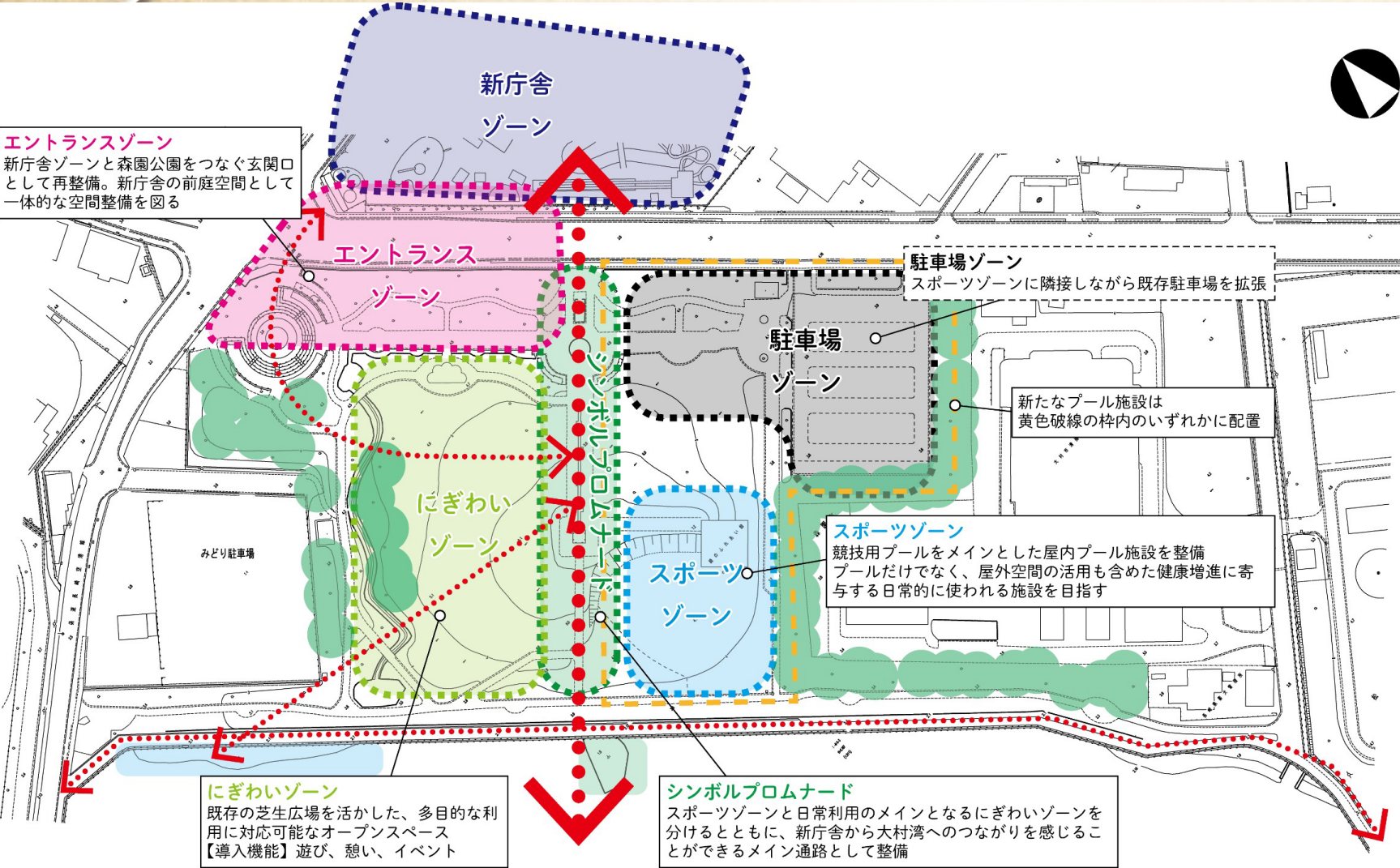


【配置計画(案)検討エリア詳細】
青の破線の枠内：
15,000～20,000㎡程度
うち屋内施設：
3,000～5,000㎡程度



7.市民プール配置計画(案)(公園ゾーニング)

新市民プールと森園公園について

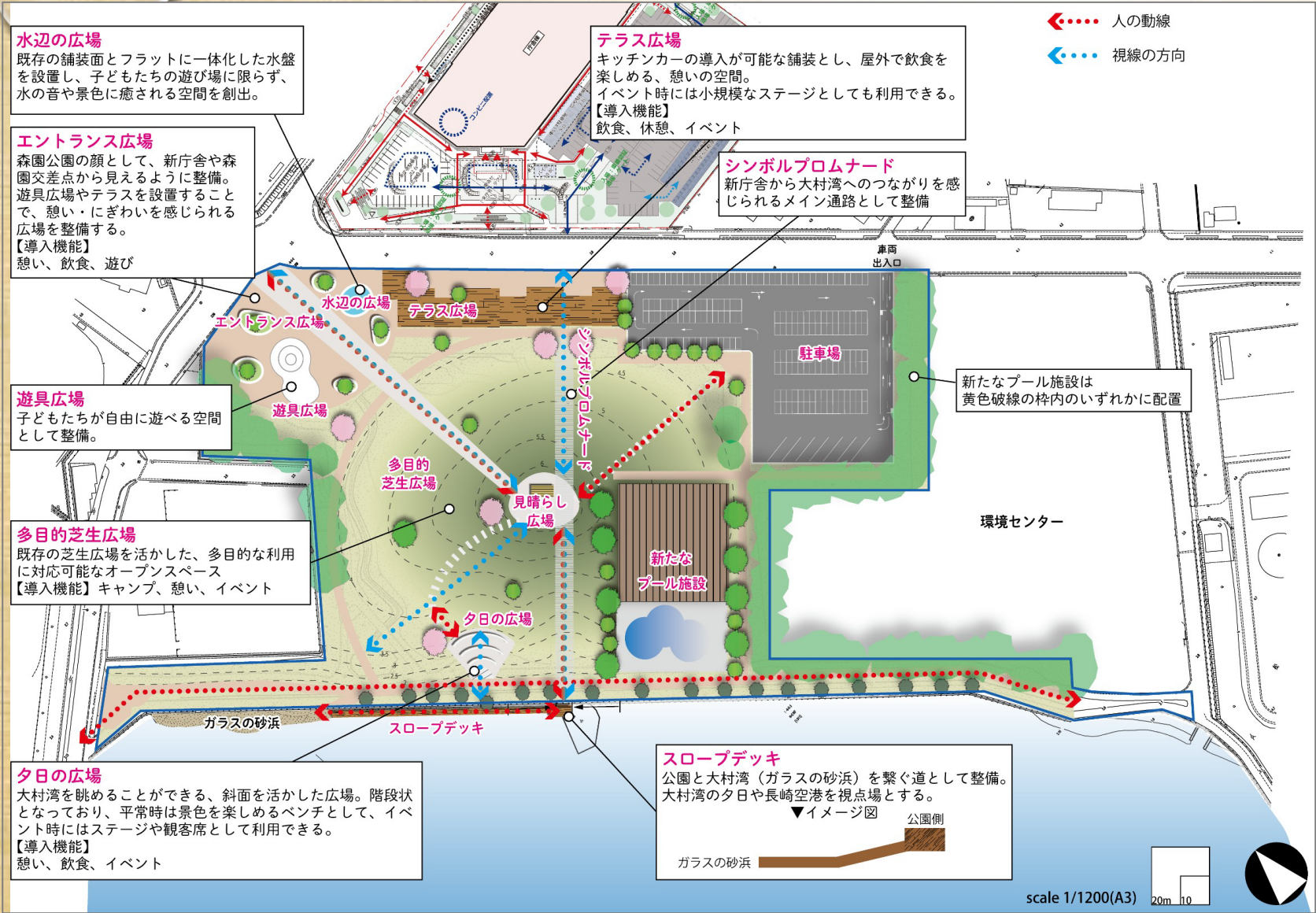


- 【ゾーニングの考え方】
- 新庁舎と一体的に利用が可能な施設配置とする。
 - 大村湾へのつながりを意識した視点場・動線を確保する。
 - 新たなプール施設は、余熱利用の観点から環境センターに隣接して配置する。
 - 多目的な利用が可能なオープンスペースとして、既存の芝生広場を活用する。

ゾーン名	各ゾーンの位置づけ・役割
エントランスゾーン	■新庁舎ゾーンと森園公園をつなぐ玄関口としてサンセット通り沿いに配置。 ■新庁舎の前庭空間として一体的な空間整備。
にぎわいゾーン	■既存の芝生広場を活かした、多目的な利用が可能なスペースとして整備。
シンボルプロムナード	■新庁舎から大村湾へのつながりを感じるメイン通路として整備。 ■スポーツゾーンとにぎわいゾーンを区分。
スポーツゾーン	■余熱利用を考慮し、環境センターに隣接して配置。
駐車場ゾーン	■既存駐車場を拡張し、スポーツゾーンに隣接して配置。

7.市民プール配置計画(案)(公園エリアコンセプト)

新市民プールと森園公園について



【森園公園に求められる機能の考え方】

- 既存の地形を生かした施設配置とする。
- カフェ等の飲食店の配置を検討する。
- 新庁舎と一体的な空間の利活用(イベント等)を図る広場を設置。
- 公園からガラスの砂浜に直接アクセスできるバリアフリー道路を配置する。

ゾーン名	施設名	備考
エントランスゾーン	エントランス広場	■森園交差点からの公園の顔としてにぎわいの創出を図る。
	水辺の広場	■子どもの遊び場に限らず、水の音や景色に癒される空間として整備。
	遊具広場	■子どもたちが自然の中で自由に遊べる空間として整備。 ■遊びだけでなく、飲食、休憩、体操など多様な利用が可能。
	テラス広場	■新庁舎の前庭空間として一体的な空間整備を図る。 ■キッチンカーの導入が可能な舗装とし、屋外で飲食を楽しめる空間として整備。 ■イベント時には、小規模なステージとして利用可能。
にぎわいゾーン	多目的芝生広場	■既存の芝生広場を活かした、多目的な利用が可能なスペースとして整備。
	見晴らし広場	■公園の中心に位置する高台を、公園全体や新庁舎、大村湾を見渡せる視点場として整備。
	夕日の広場	■大村湾や長崎空港の眺望を楽しむ場所として、座れるように階段状のベンチを設置。 ■空港からの玄関口として、にぎわいの創出を図る。
シンボルプロムナード	シンボルプロムナード	■新庁舎から大村湾へのつながりを感じるメイン通路として整備。 ■スポーツゾーンとにぎわいゾーンを区分。
スポーツゾーン	屋内プール	■多目的芝生広場とともに、本市の健康増進及びスポーツ振興に寄与する施設として整備。
	屋外施設(屋外特殊プール、屋外多目的広場等)	■屋外でも遊戯目的で利用できるプールや親水広場等の整備を検討。
駐車場ゾーン	駐車場	■既存駐車場を基本として、サンセット通り沿いに範囲を拡大。
—	スロープデッキ	■公園と大村湾をつなぐ道として整備。 ■大村湾の夕日や長崎空港を視点場とする。